

令和6年度

事業報告書



一般財団法人 石川県予防医学協会

目 次

一般財団法人石川県予防医学協会定款概要 …… 1 (第1章総則抜粋)	
はじめに …… 2	
1 2024年度事業実施概要 …… 4	
2 職域保健 …… 6	
(1) 総合健康診断・定期健康診断 …… 6	
(2) がん検診 …… 7	
(3) 特殊健康診断 …… 7	
(4) 人間ドック …… 7	
(5) 健康支援 …… 7	
(6) ストレスチェック …… 7	
3 地域保健 …… 8	
(1) 健康診査 …… 8	
(2) がん検診 …… 8	
4 学校保健 …… 9	
(1) 尿検査 …… 9	
(2) 心臓検診 …… 11	
(3) 寄生虫検査 …… 12	
5 医学検査 …… 13	
6 環境検査 …… 15	
(1) 食品検査 …… 15	
(2) 簡易専用水道検査 …… 16	
(3) 作業環境測定 …… 16	
(4) 計量証明事業 …… 17	
7 総務事項 …… 18	
(1) 理事会開催状況 …… 18	
(2) 評議員会開催状況 …… 18	
8 啓発活動報告 …… 19	
9 学会発表状況 …… 19	
10 会議・研修実施状況 …… 20	

一般財団法人石川県予防医学協会定款概要（第1章総則抜粋）

《名称》

一般財団法人 石川県予防医学協会

《設立》

1952年（昭和27年）10月 8日

《一般財団法人移行》

2013年（平成25年） 4月 1日

《住所》

金沢市神野町東115番地

《目的》

当協会は、疾病の予防、健康の保持及び増進並びに生活環境の保全を図るために必要な事業を行い、もって公衆衛生の向上と地域社会の発展に寄与することを目的とします。

《事業》

当協会は、前項の目的を達成するため、次の事業を行います。

- (1) 予防医学に関する各種健康診断、診療及び検査事業
- (2) 公衆衛生に関する普及啓発及び助成事業
- (3) 公衆衛生に関する調査研究事業
- (4) 生活環境の保全に関する必要な調査研究事業
- (5) その他この法人の目的を達成するために必要な事業

2024 年度（令和 6 年度） 事業報告書

一般財団法人 石川県予防医学協会
理事長 松崎 充意

《はじめに》

能登半島地震から 1 年余り経ち、復興まではまだまだ長い道のりであると思われませんが、各所からの支援を糧に、被災地は復興に向け少しずつ歩みをすすめています。

一方、ここ金沢においては、地方へと拡大するインバウンドの注目度が国内トップクラスと言っても過言ではないレベルにまで高まっており、都市部からの観光需要も加味すれば、地元経済全体にとって大きな経済効果がもたらされています。

こうした状況を背景に 2024 年度の協会事業は、懸念された能登地区の災害による影響は最小限にとどまり、お客さまの健診ニーズにきちんと向き合った安定的な対応を実現することができました。

ただ、デジタル化の進展に対応しうる設備更新、物価の高騰、人材投資の重要性向上といった急速な社会情勢の変化が今やスタンダードとなり、協会の持続的経営のためには、このような側面への適時適切な対応が欠かせない状況になっております。

この変化の激しい時代に、わたしたちが今後も変わらず役割を果たしていくには、変化に対応して私たちが自身が変わり続けることが必要です。お客さまを見据え社会貢献をめざす不変の軸をより向上させるため、デジタル化・組織力強化・コミュニケーション変革など時代の変化への対応を一層加速させ、協会の社会的存在意義を高めてまいります。

＜基本理念＞

「すべては お客様のために 社会貢献のために 職員と家族のために」

＜行動指針＞

1. 思いやりの心

・何事にも思いやりの心を持って取り組みます。

1. チャレンジ精神

・創造力を持ち、失敗を恐れず挑戦し続けます。

1. スピード感

・判断、行動、結果のすべてにおいて遅延なくスピード感をもって取り組みます。

1. 精度管理の徹底

・「精度管理」を最優先とし、正確な健診、検査を実施いたします。

1. コンプライアンス（法令・規則の遵守）

・関係法令、自主規準を必ず遵守します。

1. 継続的改善

・高品質のサービスを提供するため、継続的な改善に努めます。

1. 人材育成

・自らの役割に責任を持ち、高度な専門性を身に付け、情熱的に行動する人材の育成を推進します。

1. 楽しくやりがいのある働きやすい職場づくり

・基本理念実現に向けて、楽しくやりがいのある働きやすい職場づくりはとても大切です。役職員一人ひとりが主体的に行動し、全員で力を合わせてより良い職場をつくります。

<2024 年度スローガン>

「一人ひとりの意識改革で新しい協会へ ～みんなの幸せのために～」

《事業報告概要》

<事業部門>

1. 健康診断事業では、懸念された能登地区の受診率低下は想定を下回る範囲で収束、価格改定効果も寄与し増収となりました。また、定期健康診断の受診率 100%の実現、および全国的には肺がんを除けば受診率 50%に満たないがん検診についてお客さまへ継続的に勧奨してまいりました。
2. 人間ドックは安定的に利用いただいておりますが、次年度からの人間ドックへの協会けんぽの補助開始による受診ニーズ増加に向けた体制向上の検討をはじめました。
3. クリニック部門では、2024 年度も糖尿病外来の実績が堅調に推移しました。医療 DX にも積極的に取り組み電子処方箋を導入活用、またマイナ保険証利用率は直近半年間で平均 48.0%と、全国平均の 26.6%を大きく上回っており、この効果による保険点数加算は最高額の加算 1 を取得し収入増に貢献しました。
4. 臨床検査部門では、生化学分析装置を更新し、検査体制を更に強化しました。また、特殊健康診断における尿持帰り検査を拡充しました。
5. 環境検査部門では、作業環境測定の新規事業として、作業環境測定の結果が第 3 管理区分となった作業場の環境改善をご支援すべく、作業環境管理専門家及び化学物質管理専門家の資格を取得し、作業環境の改善に向けたコンサルティング業務を開始しました。

<管理部門>

1. 日本人間ドック・予防医療学会、日本総合健診医学会、全国労働衛生団体連合会等の認証取得施設として、健診・検査の精度及び品質水準維持・向上に努めました。
2. 2024 年 4 月から導入の新賃金制度により、今後の評価制度と連動する賃金決定の仕組みがスタートしました。制度はブラッシュアップを重ね、職員の働きがいとエンゲージメントの向上による組織力強化につとめました。
3. 現代に求められるマネジメント・コミュニケーションのあり方について、2025 年 1 月～3 月にかけて管理職研修による学び直しをすすめ、組織力強化を図りました。
4. 健診・人間ドックの現場における「ハンディ健診（健診データ収集システム）」導入、グループウェアでの「決裁のデジタル化」等の DX を推進し、生産性の向上を促進しました。
5. 近年の各種災害をふまえ、協会に求められる社会的役割の持続性向上に向け、事業継続計画（BCP）策定に着手しました。
6. 近年の物価高および人材投資の情勢を踏まえ、外部の知見も活用しながら、健診事業や環境検査事業の収益性分析に着手しました。
7. これからの予防医学事業の果たすべき役割をふまえ、新館建築構想（案）に着手します。
8. SDGs 宣言など、協会の事業と紐づく持続的な社会実現への取組の方向性を定め、継続中の健康経営への取組みとあわせ、協会の社会的価値向上を目指す発信をホームページ上で行いました。

1 2024年度事業実施概要

2024年度事業の実施状況は表1のとおりです。

健康診断部門における受診者数について、懸念された能登地区の受診率は職域保健では想定を上回りましたが、地域保健においては、被災地域で受診数

は減少しました。

医学検査については、他の健診機関からの検査受託を継続しました。

環境検査については、食品検査が増加し、作業環境測定・計量証明事業検査は減少しました。

表1 健診・検査実施状況

(その1)

No	健診・検査の種類	2024年度 受診者数・件数	2023年度 受診者数・件数	増減	増減率
1	①健康診断部門／職域保健				
2	健康診断 総合健康診断	37,767	35,411	2,356	6.7%
3	定期健康診断	151,424	155,567	-4,143	-2.7%
4	小計	189,191	190,978	-1,787	-0.9%
5	人間ドック	8,598	7,978	620	7.8%
6	肺がん検診 X線	166,723	168,230	-1,507	-0.9%
7	CT	6,810	6,949	-139	-2.0%
8	胃がん検診 XP	23,725	24,690	-965	-3.9%
9	上部消化管内 視鏡	13,081	11,514	1,567	13.6%
10	大腸がん検診 便潜血	67,063	65,334	1,729	2.6%
11	S状結腸内視 鏡	1,586	1,083	503	46.4%
12	子宮頸がん検診	10,581	10,021	560	5.6%
13	乳がん検診	11,321	11,449	-128	-1.1%
14	前立腺がん検診	12,672	12,186	486	4.0%
15	感染症検査・予防接種	33,605	34,716	-1,111	-3.2%
16	特殊健康診断 法定 有機	10,254	10,018	236	2.4%
17	じん肺	2,934	3,092	-158	-5.1%
18	特化物	12,740	12,448	292	2.3%
19	その他	3,714	3,567	147	4.1%
20	行政指導	5,095	4,498	597	13.3%
21	健康支援	1,585	1,440	145	10.1%
22	ストレスチェック	57,373	59,132	-1,759	-3.0%
23	腸内細菌検査・ノロウ イルス検査	115,358	115,557	-199	-0.2%

(その2)

No	健診・検査の種類	2024年度 受診者数・件数	2023年度 受診者数・件数	増減	増減率	
24	②健康診断部門／地域保健					
25	健康診査	13,996	13,789	207	1.5%	
26	肺がん・結核検診	X線検査	21,509	22,309	-800	-3.6%
27		CT検査	599	607	-8	-1.3%
28	胃がん検診	5,909	5,977	-68	-1.1%	
29	大腸がん検診	15,714	15,862	-148	-0.9%	
30	子宮頸がん検診	2,365	2,477	-112	-4.5%	
31	乳がん検診	3,015	3,178	-163	-5.1%	
32	前立腺がん検診	3,534	3,544	-10	-0.3%	
33	健康支援・骨密度測定	1,403	1,310	93	7.1%	
34	③健康診断部門／学校保健					
35	尿検査	137,227	140,446	-3,219	-2.3%	
36	ぎょう虫検査	639	6,574	-5,935	-90.3%	
37	学校心電図検査	10,874	11,681	-807	-6.9%	
38	学校健康診断	20,892	21,284	-392	-1.8%	
39	感染症検査・予防接種	6,505	7,068	-563	-8.0%	
40	④クリニック部門					
41	保険診療	件数	8,166	7,971	195	2.4%
42		点数	8,293,753	8,137,003	156,750	1.9%
43	⑤臨床検査部門					
44	臨床検査	19,490	19,998	-508	-2.5%	
45	⑥環境検査部門					
46	食品検査	食品検体検査	11,264	10,443	821	7.9%
		コンサル・監査	79	68	11	16.2%
47	簡易専用水道検査	823	828	-5	-0.6%	
48	作業環境測定	作業環境測定	2,436	2,485	-49	-2.0%
		フィットテスト	30	32	-2	-6.3%
49	計量証明事業検査	267	315	-48	-15.2%	

2 職域保健

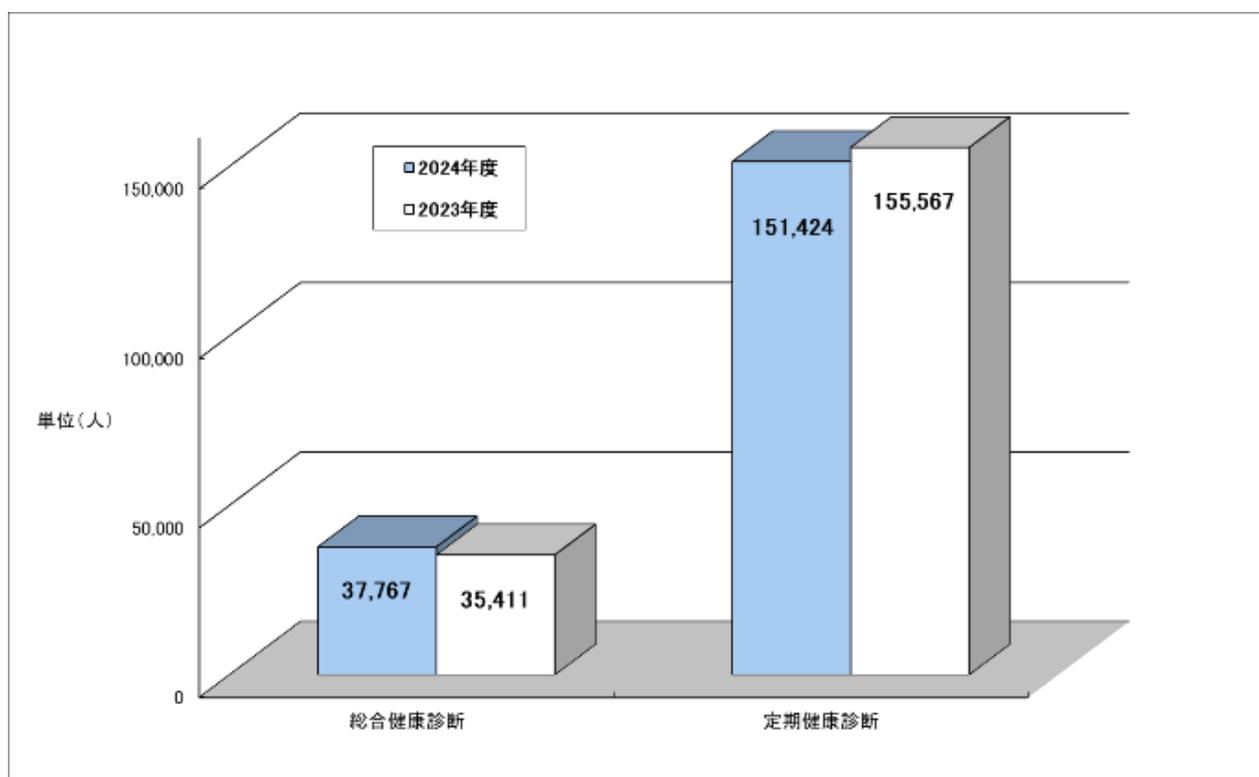
2024年度は、懸念された能登地区の受診率は想定を上回りましたが、2023年度との比較では総合健診と定期健康診断を合わせた健康診断は減少しました。

人間ドックの受診者数は、受診枠の有効活用を行い、総合健診からの移行を進め増加しました。

健診・人間ドックの現場における「ハンディ健診（健診データ収集システム）」の2025年導入に向けた準備を進め、年度末から定期健康診断と女性がん検診を先行して開始し、お客様の利便性と健診処理、現場検査の生産性、正確性の向上に取り組みました。

また、事務作業の入力業務を中心にRPAを活用した業務の自動化を推進し、生産性や品質の向上を図りながら、職員の負荷軽減に寄与することができました。

図1 定期健康診断実施状況



(1) 総合健康診断・定期健康診断

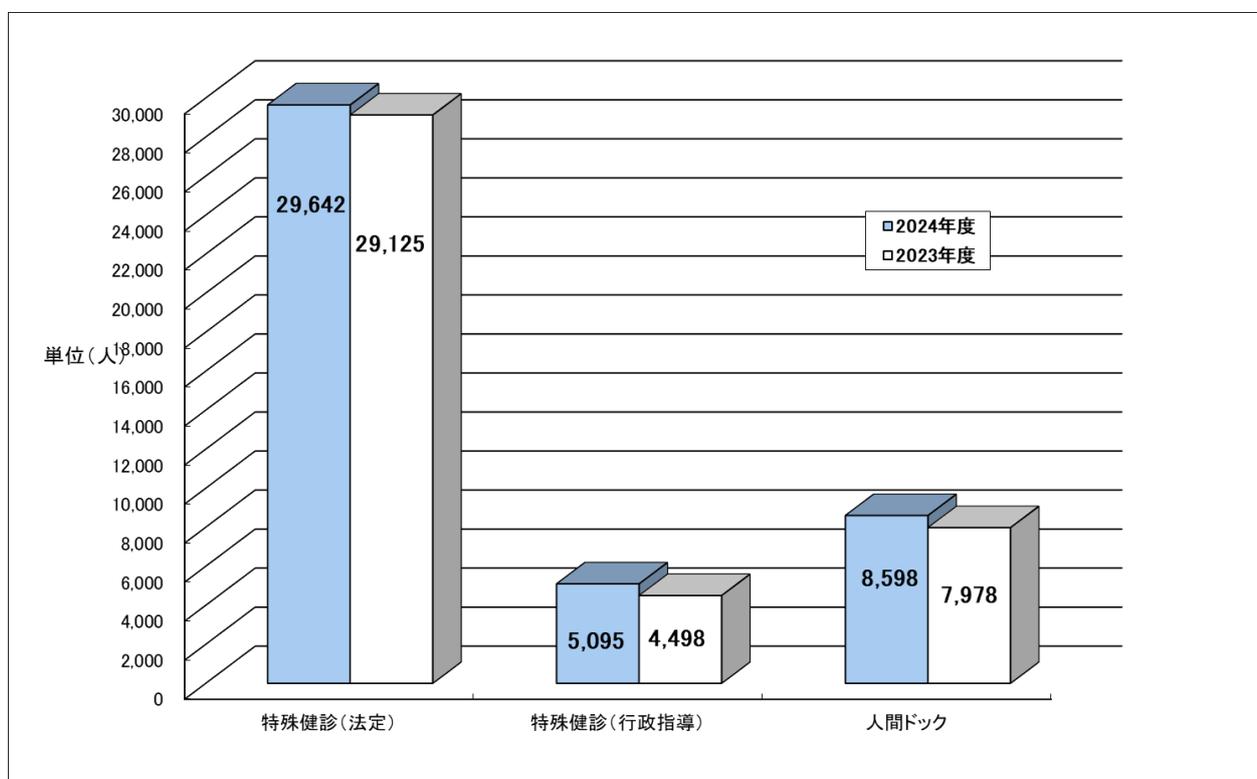
実施状況は図1のとおりです。総合健康診断、定期健康診断を合わせた健康診断の受診者数の合計は、1,787人減の189,191人でした。

法定の定期健康診断にがん検診等を加えて実施している総合健康診断は、健康保険組合・共済組合等の助成も多いため、助成制度を有効に利用いただけるよう、巡回（出張）・施設健診の両方で利用促

進し、施設健診では午前の受付時間を拡大し受診率向上に努めました。

労働安全衛生規則第44条に基づく定期健康診断は脳血管疾患、心臓疾患、糖尿病、腎臓病、高血圧症、貧血等の早期発見やリスクの評価には有効な検査内容であり、健康管理の基本的健康診断として広く利用いただきました。

図2 特殊健康診断等実施状況



(2) がん検診

がん検診について、胃がん検診は602人増の36,806人、大腸がん検診（便潜血検査）の受診者数は1,729人増の67,063人、子宮頸がん検診は560人増の10,581人、乳がん検診は128人減の11,321人、前立腺がん検診は486人増の12,672人でした。

(3) 特殊健康診断

実施状況は、図2のとおりです。全体では1,114人増の34,737人が受診され、有機溶剤は10,254人、じん肺健診は2,934人、特定化学物質等の法定特殊健診は12,740人、情報機器作業健診(VDT)等の行政指導特殊健診は5,095人でした。

(4) 人間ドック

人間ドックについては、内視鏡検査の体制がコロナ禍前に戻り、キャンセル枠の運用を効率よく実施できたことにより、受診者数は620人増の8,598人でした。

(5) 健康支援

施設健診では、健診当日の面談を積極的に案内し特定保健指導は145人増の1,585人でした。

(6) ストレスチェック

労働安全衛生法改正に基づくストレスチェックについて、受検者数は1,759人減の57,373人でした。

3 地域保健

特定健診の対象となる市町の国民健康保険加入者の減少が続いており、健康診査は増加しましたが、がん検診は減少となりました。能登半島地震の影響が大きかった地域では、受診者数は減少しましたが、他市町に避難されている方々も避難先で受診できるよう、行政と協力して実施いたしました。

市町別の実施状況は、表2のとおりです。

(1) 健康診査

健康診査の総受診者数は207人増の13,996人でした。

(2) がん検診

肺がん・結核検診は800人減の21,509人、胃がん検診は68人減の5,909人、大腸がん検診は148人減の15,714人、子宮頸がん検診は112人減の2,365人、乳がん検診は163人減の3,015人、前立腺がん検診は10人減の3,534人でした。

表2 地域保健市町別実施状況

市町名	基本					胸部 X 線		喀痰	胃部	大腸	子宮	乳房	前立腺	マルチCT	骨密度
	若年	特定	後期高齢	その他	国保外	39歳以下	40歳以上								
金沢市		746	231				910	20	732	586		281	163	87	135
小松市	171	523	128	1	13		7,978	125	2,307	6,965			256		
七尾市	69	1,291	642	3	129				6				1,117		
能美市	383	1,496		6	299		3,150	31	1,117	2,903			594	431	
川北町	78	202			55		400	7	146	250	135	196	187	81	225
野々市市	144	343	21	3			1,234	14	32	31		19	6		
白山市	346	808	4										83		
羽咋市															
内灘町	233	897		8	269		1,250	33	704	1,201	736	956	427		667
津幡町	274	896	430	4	237		1,537	6	664	1,446	681	699	49		
志賀町	25	706	440		70		1,512	33					41		
中能登町	30	548	471	14	145		1,407	10		1,115			364		150
穴水町					1										
輪島市		15					705	3	4	5	49	66			
珠洲市		20					9		2	6	4	3			
能登町		1					1		1	1	1	1			
かほく市	341	1,001		3	210		1,416	1	194	1,205	759	794	247		226
合計	2,094	9,493	2,367	42	1,428	0	21,509	283	5,909	15,714	2,365	3,015	3,534	599	1,403

※1 かほく市 : 胃ABC検診

※2 川北町 : 子宮135名 内12名HPV検査実施

※3 かほく市 : 子宮759名 内101名HPV検査実施

4 学校保健

児童・生徒の健康管理については、心臓検診（心電図・心音図心電図検査）、腎臓・糖尿検診（尿検査）、ぎょう虫・寄生虫検査を集団検査として実施しています。これらの検診・検査は、小児期における心臓病・腎臓病・糖尿病・感染症等の早期発見や生活指導における情報として活用していただいています。

2024年度も引き続き更なる精度管理の徹底、

正確・迅速な結果報告に取り組みました。また、2020年度から導入した全自動尿統合分析装置による、確実な検査・判定システムの高い精度及び業務効率を考慮した検査体制を維持できました。

(1) 尿検査

尿検査は、小児期における腎疾患と若年性糖尿病の早期発見を目的としています。2024年度の受診者数は、3,219人減の137,227人でした。

尿検査の実施状況は、表3、4のとおりです。

表3 尿検査（腎臓病検診）実施状況

		一次検尿			二次検尿				
		実施者数	陽性者数 *1	陽性率	実施者数	提出率	陽性者数	2次 陽性率	陽性率
		A (人)	B (人)	B/A(%)	C (人)	C/B(%)	D (人)	D/C(%)	D/A(%)
幼稚園 *2	男	12,399	99	0.80	72	73	12	16.67	0.10
	女	11,210	148	1.32	120	81	26	21.67	0.23
	計	23,609	247	1.05	192	78	38	19.79	0.16
小学校	男	28,216	148	0.52	134	91	38	28.36	0.13
	女	26,809	324	1.21	307	95	69	22.48	0.26
	計	55,025	472	0.86	441	93	107	24.26	0.19
中学校	男	14,492	387	2.67	344	89	60	17.44	0.41
	女	13,689	500	3.65	429	86	56	13.05	0.41
	計	28,181	887	3.15	773	87	116	15.01	0.41
高等学校	男	12,958	349	2.69	321	92	49	15.26	0.38
	女	12,531	469	3.74	388	83	44	11.34	0.35
	計	25,489	818	3.21	709	87	93	13.12	0.36
その他の学校	男	1,738	57	3.28	54	95	15	27.78	0.86
	女	807	32	3.97	29	91	5	17.24	0.62
	計	2,545	89	3.50	83	93	20	24.10	0.79
男 計		69,803	1,040	1.49	925	89	174	18.81	0.25
女 計		65,046	1,473	2.26	1,273	86	200	15.71	0.31
合 計		134,849	2,513	1.86	2,198	87	374	17.02	0.28

*1・・・蛋白・潜血併用で、どちらか一方でも陽性の者とする。

*2・・・保育所・保育園を含む

表4 尿検査（糖尿検診）実施状況

		一次検尿			二次検尿				
		実施者数	陽性者数	陽性率	実施者数	提出率	陽性者数	2次陽性率	陽性率
		A (人)	B (人)	B/A(%)	C (人)	C/B(%)	D (人)	D/C(%)	D/A(%)
幼稚園 *1	男	12,399	7	0.06	5	71	0	0.00	0.00
	女	11,210	12	0.11	9	75	1	11.11	0.01
	計	23,609	19	0.08	14	74	1	7.14	0.00
小学校	男	28,216	25	0.09	19	76	6	31.58	0.02
	女	26,809	23	0.09	18	78	4	22.22	0.01
	計	55,025	48	0.09	37	77	10	27.03	0.02
中学校	男	14,492	32	0.22	28	88	6	21.43	0.04
	女	13,689	27	0.20	20	74	3	15.00	0.02
	計	28,181	59	0.21	48	81	9	18.75	0.03
高等学校	男	12,958	42	0.32	33	79	8	24.24	0.06
	女	12,531	41	0.33	36	88	6	16.67	0.05
	計	25,489	83	0.33	69	83	14	20.29	0.05
その他の学校	男	1,738	9	0.52	9	100	0	0.00	0.00
	女	807	5	0.62	3	60	1	33.33	0.12
	計	2,545	14	0.55	12	86	1	8.33	0.04
男 計		69,803	115	0.16	94	82	20	21.28	0.03
女 計		65,046	108	0.17	86	80	15	17.44	0.02
合 計		134,849	223	0.17	180	81	35	19.44	0.03

*1・・・保育所・保育園を含む

(2) 心臓検診

学校や家庭での心臓病による突然死を防ぐことを目的に、基本的に小中学校1年生には、心音

図心電図検査、高等学校1年生には、心電図検査を専門医に指導いただき実施しています。

学校心臓検診の実施状況は、表5のとおりです。

表5 学校心臓検診実施状況

区分		結果	2024年度				2023年度			
			実施者数 A(人)	精検対象 者数 B(人)	精検率 B/A(%)	精検率 全国 (%)	実施者数 A(人)	精検対象 者数 B(人)	精検率 B/A(%)	精検率 全国 (%)
男	小学校	1年生	249	3	1.20	2.99	321	7	2.18	2.83
		4年生	101	3	2.97		109	2	1.83	
		他学年	7	0	0.00		4	1	0.00	
		計	357	6	1.68		434	10	2.30	
	中学校	1年生	366	21	5.74	3.27	393	27	6.87	3.34
		他学年	4	0	0.00		2	0	0.00	
		計	370	21	5.68		395	27	6.84	
	高等学校	1年生	4,610	177	3.84	3.72	5,016	207	4.13	3.78
		他学年	4	1	25.00		14	0	0.00	
		計	4,614	178	3.86		5,030	207	4.12	
	特別学校	227	16	7.05		232	20	8.62		
	合計	5,568	221	3.97		6,091	264	4.33		
女	小学校	1年生	214	2	0.93	2.17	261	3	1.15	2.16
		4年生	101	2	1.98		105	2	1.90	
		他学年	3	0	0.00		6	0	0.00	
		計	318	4	1.26		372	5	1.34	
	中学校	1年生	412	27	6.55	2.74	406	16	3.94	2.78
		他学年	1	0	0.00		2	0	0.00	
		計	413	27	6.54		408	16	3.92	
	高等学校	1年生	4,452	120	2.70	2.43	4,687	141	3.01	2.52
		他学年	2	1	50.00		7	0	0.00	
		計	4,454	121	2.72		4,694	141	3.00	
	特別学校	121	20	16.53		116	18	15.52		
	合計	5,306	172	3.24		5,590	180	3.22		
	合計	10,874	393	3.61		11,681	444	3.80		

※精検対象者は、要精密検査者と病院管理中の者

※精検率全国値は、文部科学省の学校保健統計調査統計表一覧を引用

(3) 寄生虫検査

2016 年度に学校保健安全法が改正され、ぎょう虫検査につきましては、任意項目となりました。保卵者数が 0 人の状態が続いており、集団健診としての意義を考慮し、当協会の役割を果たせたとの思いから 2024 年度をもって検査を終了する

ことといたしました。2024 年度のぎょう虫検査実施件数は、5,935 件減の 639 件でした。

ぎょう虫検査の実施状況は、表 6 のとおりです。

表 6 寄生虫検査実施状況

区分 結果	2 日法			4 日法		
	実施者数*1	保卵者数	保卵率	実施者数*1	保卵者数	保卵率
	A (人)	B (人)	B/A(%)	A (人)	B (人)	B/A(%)
幼稚園 *2	2	0	0.00	637	0	0.00
その他の学校	0	0	0.00	0	0	0.00
合計	2	0	0.00	637	0	0.00

寄生虫実施なし

*1・・・同一学校で年 2 回実施している場合は、延べ数で集計した

*2・・・保育所・保育園を含む

5 医学検査

2024年度も健診、人間ドック、クリニックの検体検査において、精度の維持・向上を基本とし、お客様にご満足いただけるサービスの提供に貢献する検査体制の構築に努めました。

臨床検査部門では、生化学分析装置の更新、特殊健康診断尿持帰り検査の拡充に取り組みました。

2024年度実施した検査は、表7に示したように、合計3,582,389件で、検査実施数が減少しました。

遺伝子関連・染色体検査のうち、ノロウイルス検査は、対前年度174件増の1,309件を実施しました。

その他の検査17,227件は、主に尿中代謝物検査となります。

一般検査のうち、持ち帰り尿検査149,314件、学校検尿検査137,227件、ぎょう虫検査は639件を実施しました。また、ぎょう虫検査は2024年度をもって終了しました。大腸がん検査は、対前年度1,512件増の82,119件を実施しました。

表7 検査実施状況

検査別	2024年度	2023年度	対前年度比増減件数
	件数	件数	
尿・糞便等一般検査	287,180	276,928	10,252
血液学的検査	603,361	605,625	-2,264
遺伝子関連・染色体検査	213,916	214,750	-834
免疫学的検査	93,883	96,503	-2,620
生化学的検査	2,270,509	2,282,565	-12,056
大腸がん検査	82,119	80,607	1,512
病理学的検査	14,194	13,727	467
その他の検査	17,227	17,119	108
合計	3,582,389	3,587,824	-5,435

表8 石川県成人病予防センター様検査実施状況

検査別	2024年度	2023年度	対前年度比増減件数
	件数	件数	
一般臨床検査	0	0	0
血液学的検査	18,005	18,456	-451
血清学的検査	1,055	1,274	-219
臨床化学的検査	18,589	19,007	-418

表9 検査実施状況

検査別	2024年度	2023年度	対前年度比増減件数
	件数	件数	
SS	109,164	109,705	-541
EHEC	102,683	102,611	72
O157	760	1,105	-345
腸内細菌検査計	212,607	213,421	-814
ノロウイルスリアルタイムPCR法	1,309	1,135	174

6 環境検査

環境検査部門では、労働安全衛生法の改正により、作業環境測定の結果が第3管理区分となった作業場の環境改善をご支援すべく、作業環境管理専門家及び化学物質管理専門家の資格を取得し、作業環境の改善に向けたコンサルティング業務を開始しました。

料金の適正化を図るため、食品検査では「容器包装規格試験」及び「ふぐ毒・貝毒検査」、食品安全コンサルティング事業ではJFS-A/B規格監査の料金改定を行いました。今後も、環境検査事業を通じて「健康・安全・安心」に貢献できるよう、精度の維持・向上、業務の効率化・合理化に努めていきます。

(1) 食品検査

全体の検査件数は、昨年度比832件増の11,343件でした。

「ジェネラリスト」の育成を第一とし、各自が担える業務の幅を広げ、組織力の強化に取り組みました。ICP-MSの機器更新による分析処理能力の向上、既存機器を活用した新たな試験項目の立ち上げや新試験法の導入による効率化も図り、資産の有効利用とコスト削減に努めました。また、ISO17025認定試験所として、検査精度の維持・向上にも努めました。食品安全マネジメント規格「JFS-A/B規格」の監査契約件数は、昨年度比6件増の31件と実績を伸ばすことができました。食品検査実施状況は表10のとおりです。

表10 食品検査(項目別)実施状況

項目分類	2024年度	2023年度	対前年度比 増減件数
細菌検査	6,124	5,604	520
衛生検査	2,750	2,627	123
理化学検査	856	658	198
有害物質検査	616	619	-3
規格検査	547	533	14
異物検査	143	131	12
輸入食品検査	55	65	-10
放射性物質検査	5	50	-45
HACCP導入支援業務 (JFS監査業務含む)	79	68	11
その他(再発行手数料等)	168	156	12
合計	11,343	10,511	832

(2) 簡易専用水道検査

全体の検査件数は、昨年度比 5 件減の 823 件（現場検査：712 件、書類検査：111 件）でした。

精度管理については、外部研修会への積極的な参加と信頼性確保部門による内部監査の定期的な実施により、全国給水衛生検査協会主催の外部精度管理調査において、S ランクを維持することができました。また、書類検査に続き、現場検査においても 2025 年 4 月からの新料金運用開始に向け、お客様への提案活動に努めました。

「簡易専用水道検査員からのアドバイス」の報告書への添付を継続し、更に具体的で分かりやすい改善提案に努め、多くの改善につなげることができました。

(3) 作業環境測定

全体の検査件数は、昨年度比 51 件減の 2,466 件でした。

作業環境管理専門家及び化学物質管理専門家による作業環境改善に向けたコンサルティング業務を開始しました。「作業環境測定士からのアドバイス」の報告書への添付を継続し、測定結果の報告だけでなく、最新の労働安全衛生に関する法令等も積極的に発信し、安全で安心な職場づくりに寄与することができました。

作業環境測定の実施状況は、表 11 のとおりです。

表 1 1 労働安全衛生法第 65 条に基づく定期作業環境測定実施状況

検査分類	2024 年度	2023 年度	対前年度比 増減件数
有機溶剤測定	818	776	42
特定化学物質測定 (溶接ヒューム濃度測定含む)	597	588	9
粉じん測定	360	353	7
金属測定	93	95	-2
騒音測定	98	112	-14
空気環境測定 (事務所則含む)	382	472	-90
フィットテスト	30	32	-2
その他測定 (制御風速等)	88	89	-1
合計	2,466	2,517	-51

(4) 計量証明事業

全体の検査件数は昨年度比 48 件減の 267 件でした。

計量証明事業の実施状況は表 12 のとおりです。

表 12 計 量 証 明 事 業 実 施 状 況

検 査 分 類	2024 年度	2023 年度	対前年度比 増減件数
大 気 測 定	222	252	-30
その他(計量対象外等)	45	63	-18
合 計	267	315	-48

7 総務事項

(1)理事会開催状況

2024年6月期定例理事会

2024年6月4日(火)

第1号議案

2023年度(令和5年度)事業報告(案)

第2号議案

2023年度(令和5年度)決算(案)

第1～2号議案について審議の結果、全会一致で承認されました。

2025年3月期定例理事会

2025年3月3日(月)

第1号議案

2025年度(令和7年度)事業計画(案)

第2号議案

2025年度(令和7年度)収支予算(案)

第1～2号議案について審議の結果、全会一致で承認されました。

(2)評議員会開催状況

2024年6月期定例評議員会

2024年6月21日(金)

第1号議案

2023年度(令和5年度)事業報告(案)

第2号議案

2023年度(令和5年度)決算(案)

第1～2号議案について審議の結果、全会一致で承認されました。

2025年3月期定例評議員会

2025年3月18日(火)

第1号議案

2025年度(令和7年度)事業計画(案)

第2号議案

2025年度(令和7年度)収支予算(案)

第1～2号議案について審議の結果、全会一致で承認されました。

8 啓発活動報告

公益活動の一環として、乳がん啓蒙運動「かなざわピンクリボンプロジェクト」に参画し、がん早期発見のための啓発活動を行いました。

◇かなざわピンクリボンプロジェクト

開催日：2024年11月3日(日)

会場：犀川河川敷緑地公園

内容：活動では、メッセージイベント等の取り組みに参画し、乳がん検診の啓発に協力しました。

9 学会発表状況

令和6年度(一社)全国給水衛生検査協会東海北陸支部総会及び研究会

日時：2024年5月30, 31日

会場：ホテルグリーンパーク津

内容：令和6年度能登半島地震後の貯水槽の被害状況及び使用状況について
発表者：坂野 寛太

第3回 三重県学校心臓検診講演会

日時：2024年7月25日

会場：三重大学医学部付属病院

内容：学校心臓検診のデジタル化について
～石川県予防医学協会の取り組み～
発表者：岩田 みどり

第28回 日本小児心電学会学術集会

日時：2024年11月29, 30日

会場：アスト津

内容：クラウド型学校心臓検診
～石川県予防医学協会の取り組み～
発表者：岩田 みどり

第53回 日本乳癌検診学会総会

日時：2024年11月29,30日

会場：ジューメッセ群馬

内容：当施設スタッフによるマンモグラフィ装置の精度管理実施の取り組み
～生活習慣や健診結果を比較～
発表者：山本 綾

令和6年度(一社)全国給水衛生検査協会全国技術研究発表会

日時：2024年12月19, 20日

会場：太田区産業プラザ PiO

内容：令和6年度能登半島地震後の貯水槽の被害状況及び今後の課題について
発表者：坂野 寛太

第53回 日本総合健診医学会

日時：2025年1月31, 2月1日

会場：グランドニッコー東京ベイ舞浜

内容：脂肪肝指数(FLI)と腹部超音波検査での脂肪肝判定の関係
～生活習慣や健診結果を比較～
発表者：西野 早稀

第58回 全国予防医学技術研究会

日時：2025年2月20, 21日

会場：京都テルサ(京都)

内容：当協会における交通安全対策について
発表者：唐木 章裕

内容：上腕式全自動血圧計使用に向けた準備と実施について
発表者：宮本 律子

内容：当協会の巡回健診における健診実施票の運用について
発表者：善田 正嗣

10 会議・研修実施状況

◇ 各種会議・研修

健診事務職育成事業について

4月1日	Web参加
第2回全衛連中部地方協議会 定例会	
4月23日	静岡県
人間ドック学会における健診事務職育成研修	
5月1日～6月30日	配信
第73回日本医学検査学会	
5月11日～5月12日	石川県
金沢マンモグラフィ技術講習会・認定試験	
5月11日～5月12日	石川県
第67回日本糖尿病学会年次学術集会	
5月17日～6月28日	東京都
第92回日本消化器内視鏡技師学会	
5月30日～6月1日	Web参加
精度管理研修会(日本総合健診医学会)	
6月	Web参加
第63回日本消化器がん検診学会総会	
6月7日～6月9日	Web参加
第65回日本臨床細胞学会春期大会	
6月8日	Web参加
サイバーセキュリティ対策講座	
6月20日	Web参加
第216回マンモグラフィ技術更新講習会	
6月21日～6月22日	京都府
第20回クリティカルケア看護学会学術集会	
6月22日～6月23日	Web参加
日本地域看護学会第27回学術集会	
6月29日～6月30日	Web参加
日本小児看護学会第34回学術集会	
7月6日～7月7日	大阪府
全衛連 検体検査精度管理オンライン研修会	
7月20日	Web参加
産業医研修会	
7月25日	福井県
一般検査研修会	
8月1日	Web参加
健診事務職育成セミナー基礎編の研修会	
8月1日	Web参加
日本CT検診学会夏期セミナー2024	
8月3日	配信
消化管撮影技術向上セミナー	
8月4日	福井県
第49回日本超音波検査学会学術集会	
8月5日	Web参加
第147回医用超音波講義講習会	
8月20日	Web参加
第18回日本慢性看護学会学術集会	
8月10日～8月11日	兵庫県
2024年第2回人間ドック健診専門医研修会	
8月21日	配信

第41回全国情報統計研修会	
8月22日～8月23日	広島県
第29回日本難病看護学会学術集会	
8月24日～8月25日	静岡県
第29回日本在宅ケア学会学術集会	
8月24日～8月25日	神奈川県
産業医研修会	
8月28日	福井県
第1回全衛連中部地方協議会 定例会議	
8月29日～8月30日	愛知県
日本災害看護学会第26回年次大会	
8月31日～9月1日	愛知県
第71回日本栄養改善学会学術総会	
9月7日～9月8日	大阪府
第98回日本糖尿病学会中部地方会	
9月14日	石川県
日本臨床一般検査学会・学術集会・講習会	
9月14日～9月15日	愛知県
第223回マンモグラフィ技術更新講習会	
9月27日～9月28日	東京都
産業医研修会	
9月28日～9月29日	埼玉県
第34回日本産業衛生学会 全国協議会	
10月3日～10月5日	千葉県
東海・西日本地区人間ドック健診施設経営研究会	
10月3日	愛知県
日本医療検査科学会第56回大会	
10月4日～10月6日	神奈川県
第65回日本人間ドック・予防医療学会学術大会	
10月9日	Web参加
日本超音波医学会 第51回関西地方会学術集会	
10月16日～11月20日	Web参加
日本総合健診医学会 第53回大会	
10月18日	神奈川県
産業医研修会	
10月18日～10月19日	石川県
産業医研修会	
10月26日～10月27日	東京都
第21回日本循環器看護学会学術集会	
10月31日	東京都
JDDW 2024(日本消化器関連学会週刊)	
10月31日～11月3日	Web参加
健康運動指導士 登録更新のための認定講習会	
11月1日	Web参加
石川県警察主催サイバーセキュリティ合同研修	
11月14日	石川県
第26回日本救急看護学会学術集会	
11月18日～11月19日	東京都
健康運動指導士 登録更新のための認定講習会	
11月19日	Web参加
臨床検査精度管理調査報告会	
11月23日	千葉県
日立自動分析装置研修会	
11月26日～11月29日	東京都

第 34 回日本乳癌検診学会学術総会
11月29日～11月30日 群馬県

第 28 回 日本小児心電学会学術集会
11月29日～11月30日 三重県
予防医学事業推進近畿・東海・北陸地区会議
12月12日～12月13日 石川県

第 26 回北陸消化器内視鏡機器取扱講習会・医学
講義
12月15日 石川県

健診機関職員研修基礎コース
12月31日 東京都

日本総合健診医学会第 53 回大会
1月30日～2月1日 東京都

第 58 回全国予防医学技術研究会
2月19日～2月21日 京都府

第 229 撮影技術更新講習会
2月22日 東京都

第 2 回全衛連中部地方協議会
2月27日 愛知県

全国業務研修会
2月27日～2月28日 福井県

健診事務職育成セミナー【発展編】
3月1日～4月30日 Web 参加

医師会臨床検査精度管理調査報告会
3月14日 東京都

予防医学事業中央会令和 6 年度保健指導研修会
3月5日～3月6日 東京都

第 230 撮影技術更新講習会
3月15日～3月16日 京都府

石川県医学検査学会
3月20日 石川県

◇ 作業環境測定検査等関係

石川県環境計量協会 令和 6 年度理事会及び意見
交換会
4月12日 石川県

第 86 回日本作業環境測定協会 北信越支部
運営委員会
5月10日 石川県

全国給水衛生検査協会東海北陸支部総会及び研
究会
5月30日～5月31日 三重県

日本作業環境測定協会北信越支部通常総会
6月14日 富山県

日本作業環境測定協会石川分会 総会・意見交
換会
6月21日 石川県

保護具着用管理責任者教育
6月24日 石川県

石川県環境計量協会 令和 6 年度総会
6月28日 石川県

全国給水衛生検査協会 令和 6 年度総会並びに
特別講演
6月28日 東京都

全国給水衛生検査協会 東海北陸支部 34 条
技術委員会・研修会
9月20日 愛知県

有機溶剤作業主任者技能講習
9月24日～9月25日 石川県

日本作業環境測定協会北信越支部石川分会
第 3 回運営委員会及び意見交換会
10月11日 石川県

日測協ワークショップ
10月15日 Web 参加

第 45 回日本作業環境測定協会学術大会
10月16日～10月18日 福岡県

日本作業環境測定協会 北信越支部運営委員会
12月6日 福井県

特定化学物質及び四アルキル鉛等作業主任者技
能講習
12月11日～12月12日 石川県

石川県環境計量協会 営業系研修会
12月13日 石川県

全国給水衛生検査協会 簡易専用水道検査全国
技術研究発表会
12月19日～12月20日 東京都

日本作業環境測定協会 令和 6 年度日本作業環
境測定協会北信越支部技術研修会
2月26日 石川県

◇ 食品・衛生検査等関係

JFSM 会員報告会 2024 春
5月16日 Web 参加

輸入食品等業者説明会
5月24日 石川県

適合証明規格運用連絡会
6月14日 Web 参加

第 1 回 HACCAP 普及指導員研修会
6月27日 Web 参加

第 1 回監査の目的と考え方（主催：IRCA）
6月27日 Web 参加

関西地区輸入食品登録検査機関懇談会総会
7月3日 大阪府

日本環境認証機構（JACO）主催：FSSC22000
Ver.6.0 移行説明会
8月5日 Web 参加

FDQI オンライン 1.5 日間コース
10月7日～10月8日 Web 参加

内部監査で確認すべき ISO22000:2018 規格要
求事項
10月15日 Web 参加

食品衛生登録検査機関協会	精度管理研修会
11月27日	東京都
食品衛生登録検査機関協会	栄養成分研修会
12月9日	東京都
適合証明規格運用連絡会	
2月14日	Web参加
食品衛生登録検査機関協会	汚染物質研修会
2月20日	東京都

◇ 労働基準協会関係

石川県産業安全衛生大会	
10月22日	石川県

